

Rising Sun

1 学年 進学コース
学年通信 第11号
2020. 2. 28

もうすぐ2年生！

3月1日、本校の卒業式が執り行われ、皆さんの先輩達が学福を巣立ちます。そして皆さんも4月には2年生です。この1年間を振り返ってみて、いかがですか？

時間の感じ方に関して、「ジャンーの法則」というものがあります。この法則によると、人間はある2つの要因により、年齢を重ねるにつれて時が過ぎるのが早く感じるとされています。まず1つ目として、5歳の人間の1年は人生の5分の1、50歳の人間にとっての1年は人生の50分の1というように、1年の比重が歳を重ねるにつれて小さくなっていくからという要因が挙げられます。この「1年の比重」以外にもう1つの大きな要因があるのですが、何だと思いませんか？それは、日々の充実感や新鮮さです。人間は生活に充実感や新鮮さが感じられなくなると、時間が過ぎるのがあっという間に感じてしまうそうです。

年齢には逆らえないので「1年の比重」では幼い子供達には敵いません。しかし、日々を充実させるという意味では、皆さんの方がより多くの選択肢や方法が与えられています。この1年間は皆さんにとって充実した1年でしたか？満足できる人も思うようにいかなかった人もいるでしょう。2年生として過ごす1年間も流れに身を任せ、今までと同じような過ごし方をしてしまうと、振り返った時に中身の無いあっという間の1年間になってしまいます。この1年間に後悔がある人もいるかもしれませんが、皆さんには2年間の高校生活が残されているのです。まだ取り戻せます！

来年度は日々新しいことにチャレンジして、充実感に満ちた毎日を過ごしませんか？卒業する時に後悔が全くない高校生活を送ることは難しいですが、その後悔を小さくすることはできます。よく、2年生は中だるみの時期などと言われますが、修学旅行などの大きなイベントも待っています。3月中には今年度をよく振り返り、反省点を改善して新年度に繋がられるように努めよう！

学年末考査に向けて



間もなく学年末考査が実施されます。三者面談で担任の先生からとも言われていると思いますが、今回のこのテストで今年度の評定が確定します。評定は積み重ねがとても大事です。例えば、入試で志望校を受験したいと思っても、大学側から提示されている評定平均に0.1でも及ばなければ出願はできないのです。皆さんの先輩の中には、3年生になってからそのことに気付くという、苦い経験をした人もいます。たったの0.1でも、3年生になってから取り返すのには相当の努力が必要です。だから今のうちから、毎回の定期テストに万全の状態で臨む必要があるのです。自分の選択肢の幅を広げるためにも、2年後の自分自身に楽をさせてあげるためにも、「今」やるしかないのです！！1分1秒も無駄にせず、しっかり取り組んでください。

☆進研模試が返却されました☆

1月に受験した進研模試の結果が返却されました。11月の結果より偏差値が上がった人が多く見られましたが、残念ながら下がってしまった人もいます。今回の反省や振り返りをしっかり行ってください。そしてその内容を、マナビジョンのポートフォリオにしっかり入力しておきましょう。

また、まもなく始まる春季休業が、1年生の学習内容を総復習するラストチャンスです。4月にはスタディサポートのテストもあります。計画的に学習を行い、2年生の良いスタートダッシュを切れるように準備を着々と進めておくようにしましょう。

総合的な探究の時間

現在、探究の時間では、2つの課題を同時に進めています。

1つ目は、「日本の課題」の探究です。各自が少子高齢化やLGBT、大学入試制度など、今の日本が抱える課題の解決に向けて探究を行っています。課題解決のプロセスを学ぶことが1年生の探究学習の目的であり、実際に国の大きな問題を高校生だけで解決するというのは簡単にできることではありません。しかし、社会の課題を自分ごととしてとらえ、解決に一步でも近づくために一生懸命考えることが、未来の社会を作ることにつながっていくはずです。テストの翌週から発表が始まります。しっかり資料をまとめ上げ、良い発表にしてほしいです。

2つ目は、来年度の遠足の計画を自分たちで立てるというものです。LHRの時間に生徒企画行事を行ってきましたが、その発展型です。行き先も、各自のおすすめの行程をプレゼンし、投票で決めます。どこで何を見学、体験してくるのかという目的の設定、実現可能な日帰りの行程作成、費用の算出と普通なら教員がやる内容を全て生徒たちで計画することで、主体性と多角的な視点に基づいた企画力を磨くことが目的です。「みんなと一緒に出かけ楽しかった」だけで終わらないようにしましょう。こちらはまだ時間がありますので、多くの学びのある有意義な遠足となるように計画を立ててください。



生徒企画の「脳トレクイズ」での一場面

勉強はコスパ最強の遊びだ

「あなたの尊敬する人は？」という質問に答えるとき、今まで私は自分より年上の方の名前を挙げていましたが、もうこの年になると、あらゆるジャンルで自分より年下の人達が活躍していることに気付かされます。アーティストもそうですし、スポーツ選手もそうです。テレビで見る度に、この人すごいなあと尊敬してしまう人がたくさんいます。

その中でも私が最近最も尊敬する年下の方は、河野玄斗さんという方です。もしかしたらご存知の方も多いかもしれません。彼は現在、東京大学理科Ⅲ類の4年生です。医学部に所属しており、いわゆる「理系」のはずなのに、なんと彼は大学3年生の時に司法試験に最年少で合格しました。英検1級と数検1級にも合格。センター試験の数学ⅠAは8分、数学ⅡBは13分で解くことができ、しかも全問正解。その上なんと、ジュノン・スーパーボーイ・コンテストでは約17000人中ベスト30に残ったイケメン。世の中、どうしてここまで不公平なんでしょうか（笑）

そんな素晴らしいすぎる頭脳の持ち主である河野さんはある日、Twitterでこんな発言をしました。

**1000時間勉強して将来の年収が100万円上がる場合、
勉強の時給は100万円×40年÷1000時間＝時給4万円になるよ。
なんでみんなそんなに勉強しないの？**

これを読んだ時、眼から鱗が落ちました。そのような考え方は今まで聞いたことがなかったからです。全員に当てはまるわけではないですが、確かにより偏差値の高い大学へ進学した方が就職先の選択肢が大幅に増え、年収の高い職も手に入りやすくなるでしょう。河野さんは、子どもの時から将来の自分のために勉強してきたと言っていました。皆さんが就活をする時、就職して仕事を始めた時、そして働いて何年か経った時に、高校時代にもっと勉強しておけば…なんて思いたくないですよね。具体的な数字はいいとして、今の学習時間にそれだけの価値があるということを河野さんは言いたいのです。

「勉強は、コスパ最強の遊びだ」というのも、これに関連した河野さんの言葉です。勉強を遊びと捉えて楽しむことができますが、それはこのように高いモチベーションがあるからなのですね。皆さんにとっての勉強のモチベーションになるもの、それはやはり将来の夢ではないでしょうか。ぜひ、スマホで遊んで終わってしまう1時間より、将来の自分のために“時給4万円”の1時間を過ごしてください。

河野さんはYouTuberとしても活躍しており、
様々な勉強法などを解説してくれています。
気になる人は、YouTubeでSTARDYをチェック！

(5組担任)



★ 今後の予定

3月1日(日)	卒業式
3月2日(月)	代休
3月3日(火)～6日(金)	学年末考査
3月5日(木)・6日(金)	サーチャージ代支払い
3月7日(土)	サタスタ
3月14日(土)	サタスタ
3月19日(金)	終業式 / 学級懇談会
3月23日(月)～27日(金)	春期講習
3月23日(月)	副教材販売（本校にて9:00～15:30）
3月24日(火)～25日(水)	教科書販売（西澤書店にて）
4月9日(木)	始業式・一斉指導 / スタサボテスト
4月10日(金)	入学式（自宅学習）
4月13日(月)	授業開始

🔍 保護者の皆様へ



1学年としての日数も残りわずかとなりました。本校入学当初の顔写真と今の生徒たちを比べてみると、ずいぶん大人びた印象を受けます。2年生では高校生活のメインイベントである、修学旅行や文化祭があります。個人としてはもちろん、集団としてもルールを守って行動することや、協調性が求められる1年になります。勉強のみならず、人間としても大きく成長できるよう、今後とも指導にあたって参ります。

保護者の皆様におかれましては、今年度1年間、本校の教育にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度もこれまで同様、よろしくお願いいたします。